



久高小中学校を訪ねて (久高島(沖縄県南城市)訪問記)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2010-03-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/9862

久高小中学校を訪ねて

旭川校 社会科教育ゼミ
延原 健太

神の島

沖縄本島から船に乗りわずか15分のところに久高島がありました。この島は沖縄の人たちにとって昔から神聖視されてきた島で今でも「神の島」と呼ばれています。私たちが訪ねた日は好天に恵まれ、島の周りの海や植物は、太陽の光を浴びてとても色鮮やかでした。島におり立ってまず感じたのは、島のゆったりとした空気です。よく、沖縄周辺の島などに行くと時間がゆっくり流れているように感じる、と聞いていましたが、まさにそんな感じがしました。小さな島なので、私たちが普段聞いている車の走る音やその他の雑音がまったくなく、ただ波の音と小鳥のさえずりがどこからか聞こえてくるばかりでした。

元気いっぱい久高小中学校

そんな静かな島でしたが、久高小中学校の子どもたちは元気いっぱいです。校門で「歓迎 北海道教育大学旭川校の皆様」と書いた立派な看板とともに迎えてくれ、大変嬉しかったです。

熱烈な歓迎の後、校長先生の案内で全学年の授業を見させていただきました。どの学年も教師と児童・生徒の関係が密で、アットホームな雰囲気でした。しかし、そんな雰囲気の中でも子どもたちは、だれたり、気が散ったりせずしっかりと授業に集中できているのがわかりました。教師の指導によって学級のルールが浸透していることを感じました。

地域の特色を活かした学校行事

授業見学の後、担当の先生から小中学校の紹介をしていただきました。久高小中学校では豊かな自然環境を十分に活用して、「浜下り（はまうい）」と呼ばれる潮干狩りや、追い込み漁などを学校行事として積極的に取り組んでおり、このことは子どもの心と体の育成という面で非常に有効であると感じました。

また、学校の行事は地域の人材の活用、地域の人々との協力の上に成り立っていることもわかりました。

先に挙げた、浜下りや追い込み漁なども地域の人々に協力してもらって行われます。さらに、運動会は小中学校だけの行事ではなく島全体で行うそうです。また、島のお年寄りの米寿などのお祝い日には島をあげてパレードを行い、小中学校の子どもたちが沖縄伝統の踊り、エイサーを披露するそうです。

このように、久高小中学校では地域と学校が一体となって子どもたちを育てていく、という姿勢が伝わってきて大変感動しました。

久高小中学校の取り組みが教えてくれたこと

久高島はほんとうに小さな島です。人口も少なく、島の人々は決して都会的な生活をしてはいません。むしろ、一昔前の日本の生活がそこにはまだあるような気さえします。しかし、そんな島だからこそ人と人との結びつきが強く、島の大人と自然とで子どもを育てていくということができのたろうなと感じました。学校教育の地域との連携が課題視される今日、久高小中学校の、地域特有の自然、風習や伝統行事を教育活動として取り入れ、地域との交流を図っていくといった取り組みは他の小・中学校でも是非参考にすべきだと感じました。